

A decorative graphic consisting of a black crosshair with four colored squares (blue, red, yellow, and white) at the intersections.

2024年3月期 決算説明会

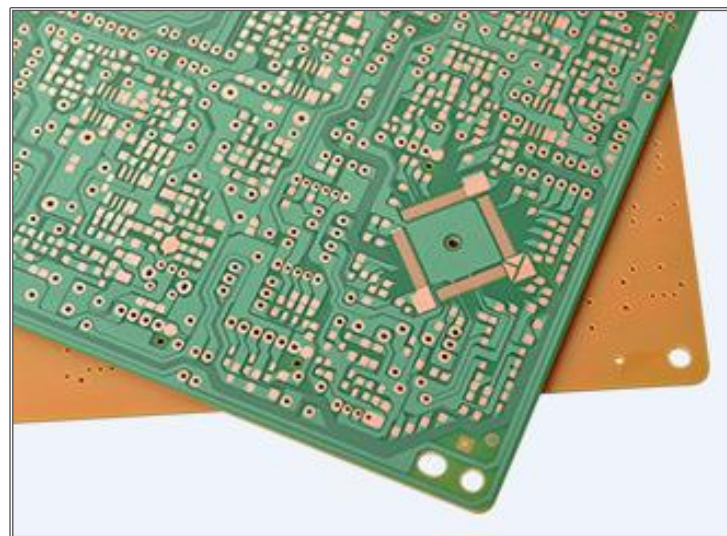
株式会社 京写

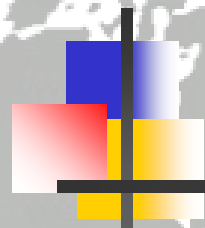
証券コード：6837

2024年 5月 10日

<https://www.kyosha.co.jp/>

- I. 2024年3月期 決算概要**
- II. 2025年3月期 業績予想**
- III. 中期経営計画について**
- IV. サステナビリティへの取組み**





I. 2024年3月期 決算概要

■ 決算総括 → 連結増収・大幅増益

- ・売上：自動車向け基板の回復、実装関連の好調、円安の為替による増収
- ・営業利益：ベトナム、実装関連の大幅増収で増益
中国のコスト改善と高付加価値基板の増加

■ 国内の状況

- ・基板は自動車向け受注が第3四半期まで好調
- ・実装関連は航空機、産業機器向けや
新市場開拓の通信機器向けの受注増により大幅増収増益

■ 海外の状況

- ・ベトナムは北米向けの自動車分野の受注好調で大幅増収、増益
- ・中国は事務機、電子部品分野を中心に受注減、
受注減に合わせたコスト改善、高付加価値の金属基板増加

2024年3月期連結決算業績



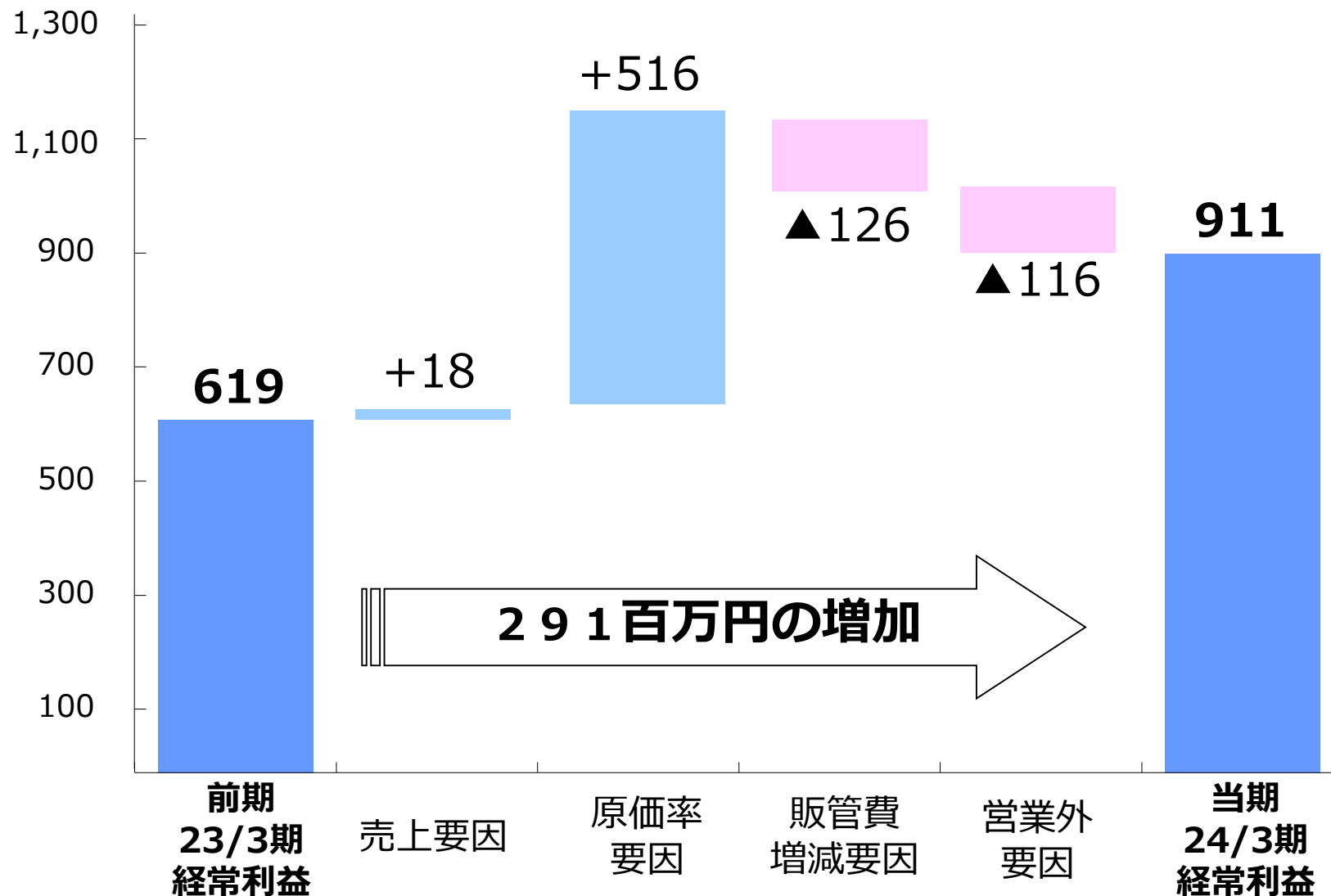
(単位：百万円)

連結	前期実績 (2023年3月期)	当期実績 (2024年3月期)	増減額	前期比
売上高	24,462	24,580	+117	100.5%
営業利益	671	1,080	+408	160.8%
経常利益	619	911	+291	147.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 485	604	+1,090	-
営業利益率	2.7%	4.4%		
為替	インドネシア (US\$) 135.47	(US\$) 144.62	9.15	106.8%
レート	ベトナム (US\$) 131.43	(US\$) 140.56	9.13	106.9%
	中国・香港 (HK\$) 16.78	(HK\$) 17.96	1.18	107.0%

経常利益の前期比較

■ ベトナムの黒字化、実装関連好調により増収増益

(百万円)



地域別セグメント業績



日本：自動車分野が3Qまで受注好調、実装関連の受注大幅増加で増益
 中国：コスト改善も事務機、電子部品(電源)分野の受注減少により減益
 インドネシア：自動車、家電製品分野等の受注減少により減益
 ベトナム：受注大幅増加により大幅黒字

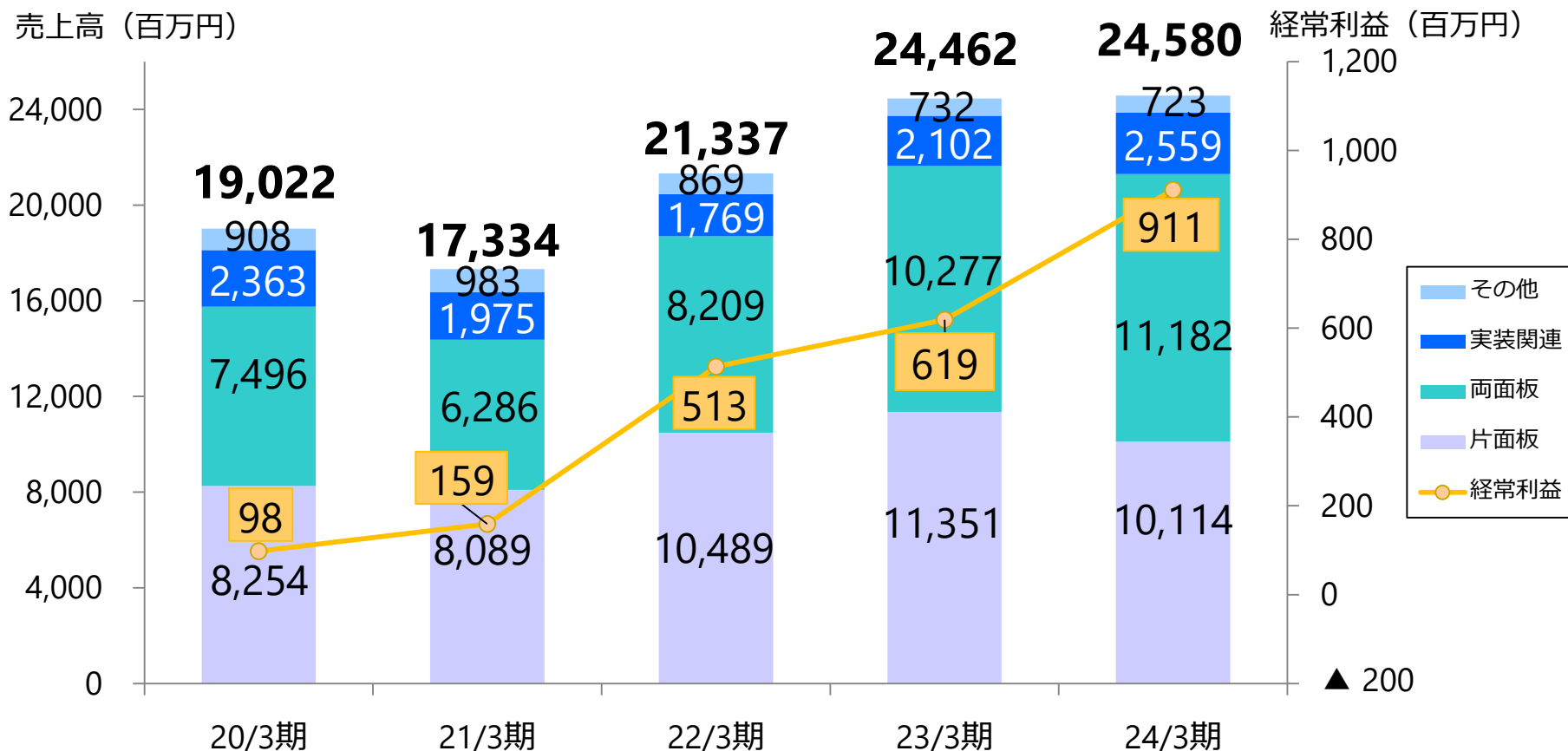
拠点		前期実績 (2023年3月期)		当期実績 (2024年3月期)		増減	
		百万円	利益率	百万円	利益率	百万円	率
日本	売上高	9,846		10,529		+682	6.9%
	営業利益	189	1.9%	197	1.9%	+7	4.1%
中国	売上高	13,552		13,074		△478	△3.5%
	営業利益	699	5.2%	698	5.3%	△0	△0.1%
インドネシア	売上高	2,739		2,128		△610	△22.3%
	営業利益	△13	-	△80	-	△66	-
メキシコ	売上高	95		131		+35	37.7%
	営業利益	△0	-	3	2.7%	+3	-
ベトナム	売上高	2,151		3,844		+1,693	78.7%
	営業利益	△178	-	269	7.0%	+448	-

※売上高にセグメント間の内部取引高を含む

製品別売上高推移



■両面板は自動車向けの増加、実装関連は受注好調とともに過去最高売上



為替レート

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
インドネシア : US\$	108.74	106.06	112.38	135.47	144.62
ベトナム : US\$	109.05	106.82	109.80	131.43	140.56
中国・香港 : HK\$	13.92	13.77	14.13	16.78	17.96

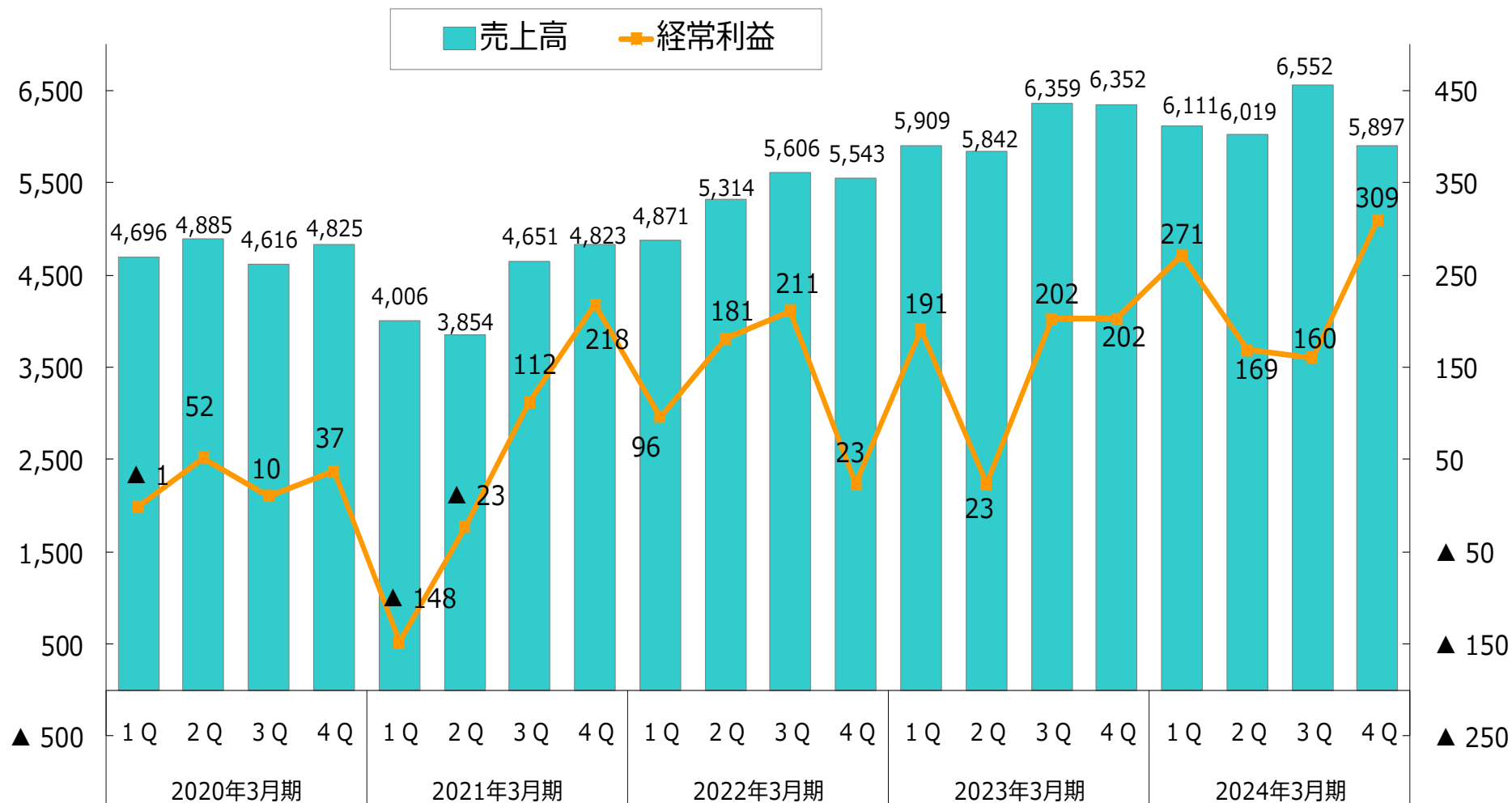
※両面板に多層板と銀スルーホール基板を含む

四半期毎の業績推移

■ 4Q 中国で生産量減、海外投資補助金もあり増益

売上高 (百万円)

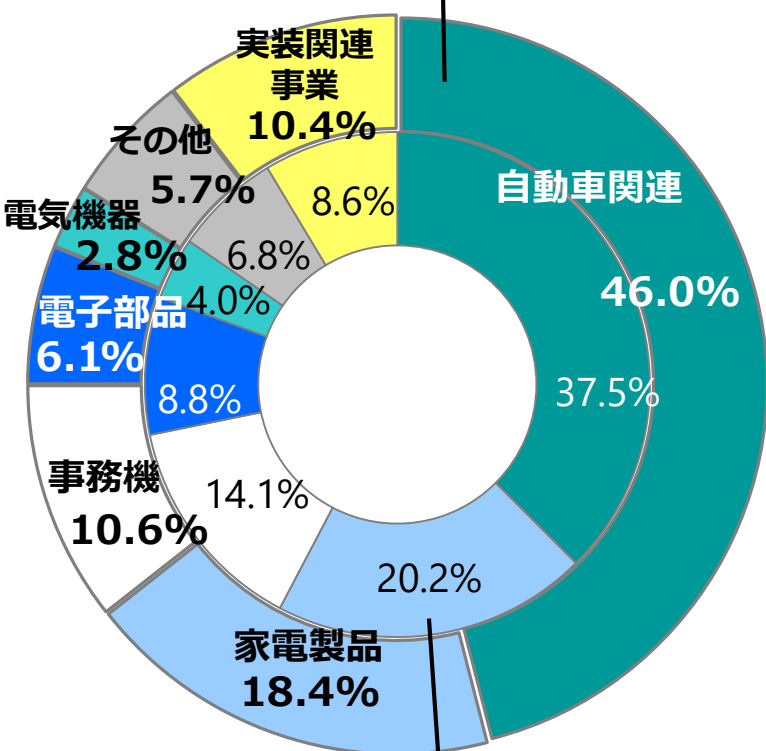
経常利益 (百万円)



用途別売上高

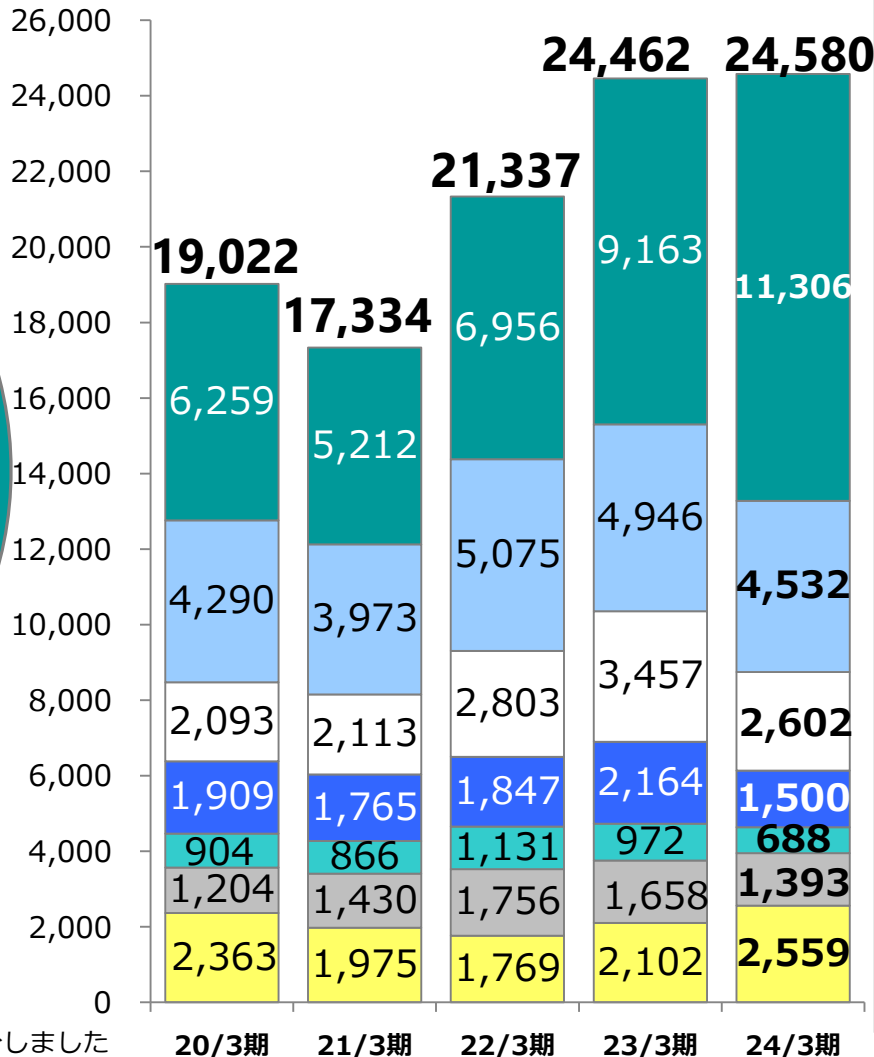
■ 自動車関連の国内外売上増加

外：24年3月期（当期）



内：23年3月期（前期）

百万円

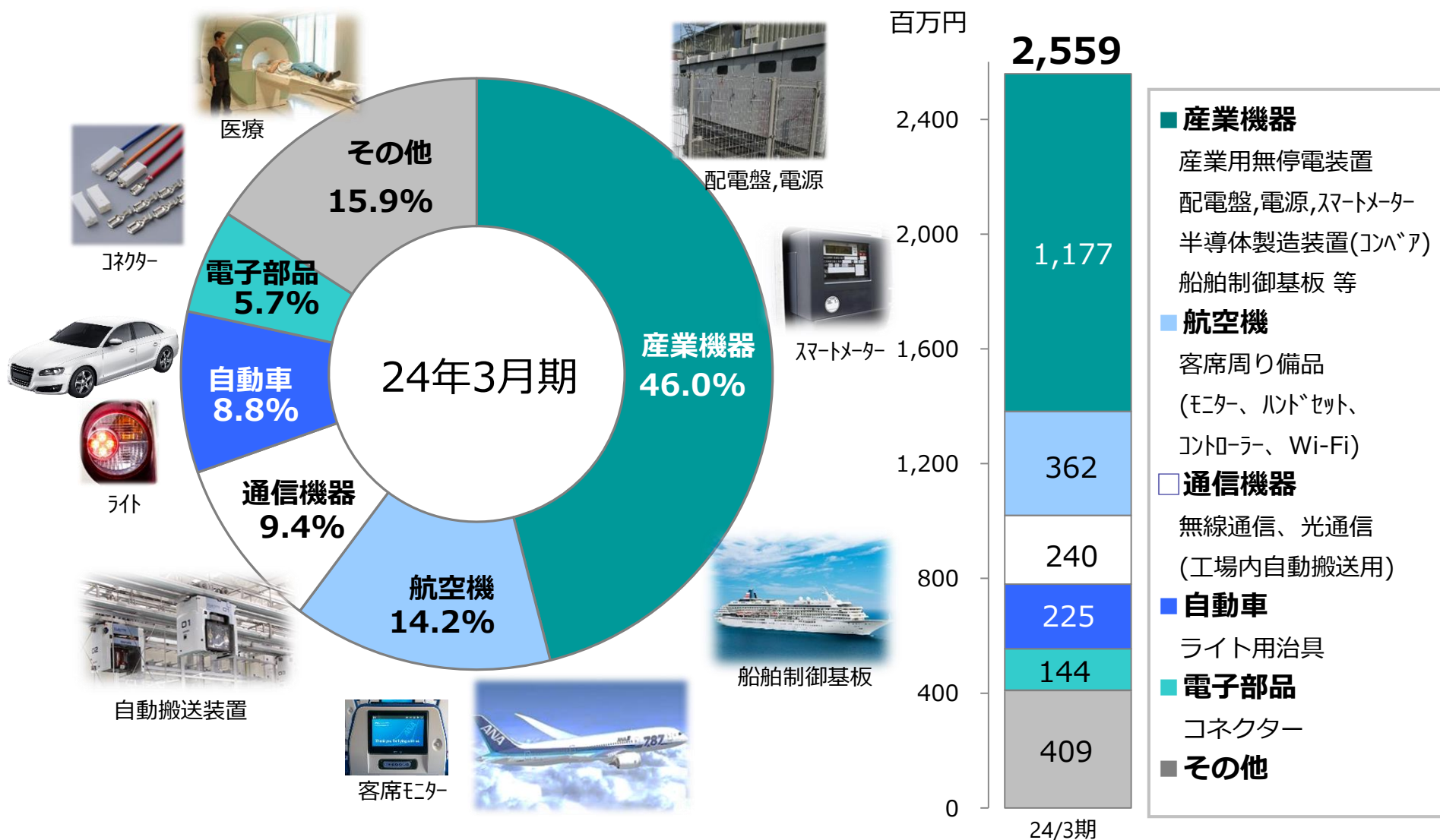


- 自動車関連
 - ライト、電装品
 - カーオーディオ
- 家電製品
 - LED照明、エアコン
 - 炊飯器、冷蔵庫
- 事務機
 - 複写機、プリンター
- 電子部品
 - 電源、モーター
 - センサー
- 電気機器
 - スマートメーター
 - 計測機器
 - 電動工具
- その他
 - 映像機器
 - 音響機器
 - アミューズメント等
- 実装関連事業
 - 実装、治具

※当期2Qより「その他」に含んでいた「実装関連事業」を区分しました

実装関連事業の用途別売上高

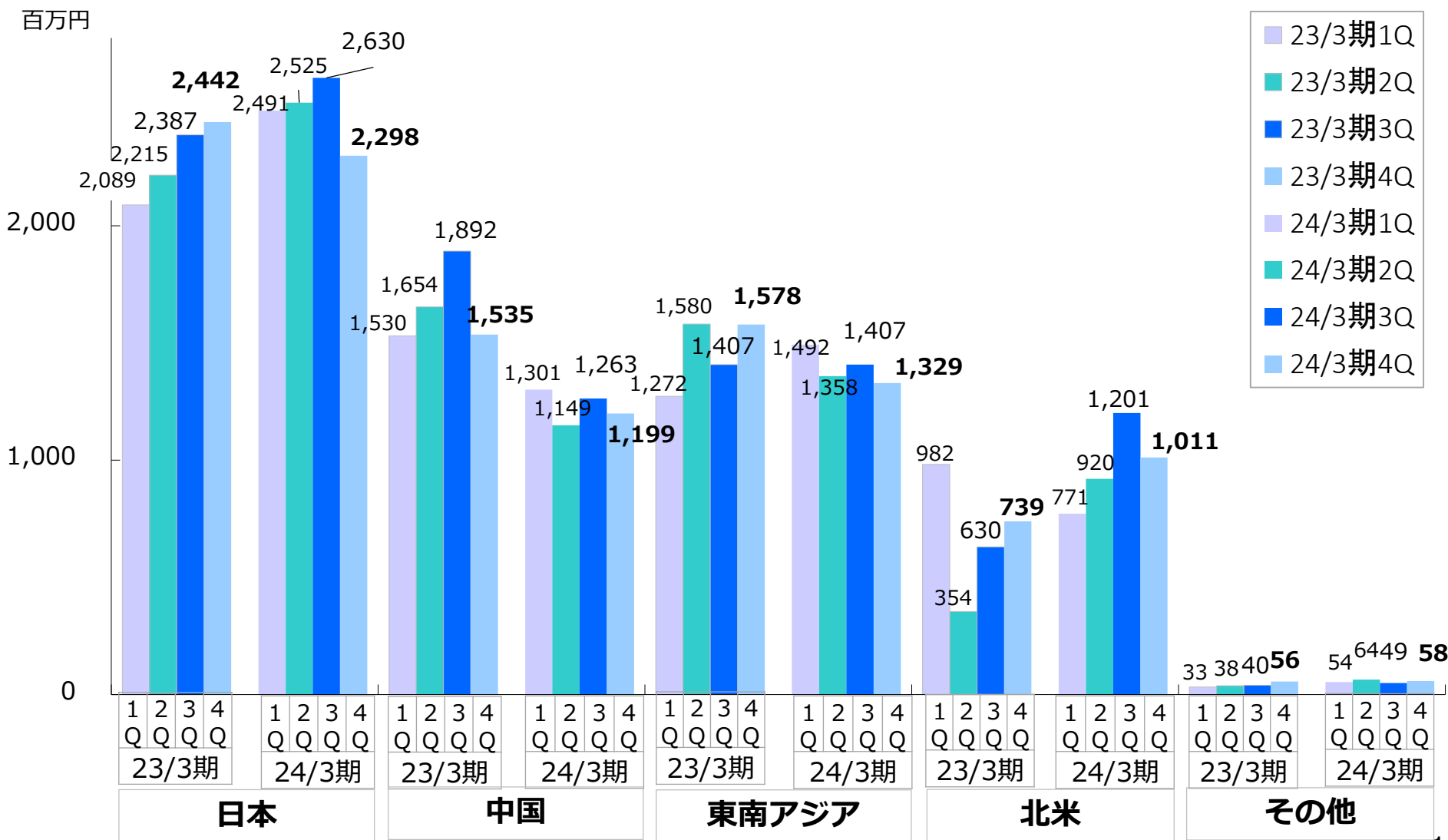
■主力の産業機器、航空機向け受注好調、新市場開拓により通信機器向け増加



販売地域別四半期売上高



■ 前4Q比北米向け大幅増加、中国・東南アジア・日本向け減少



貸借対照表

(単位：百万円)



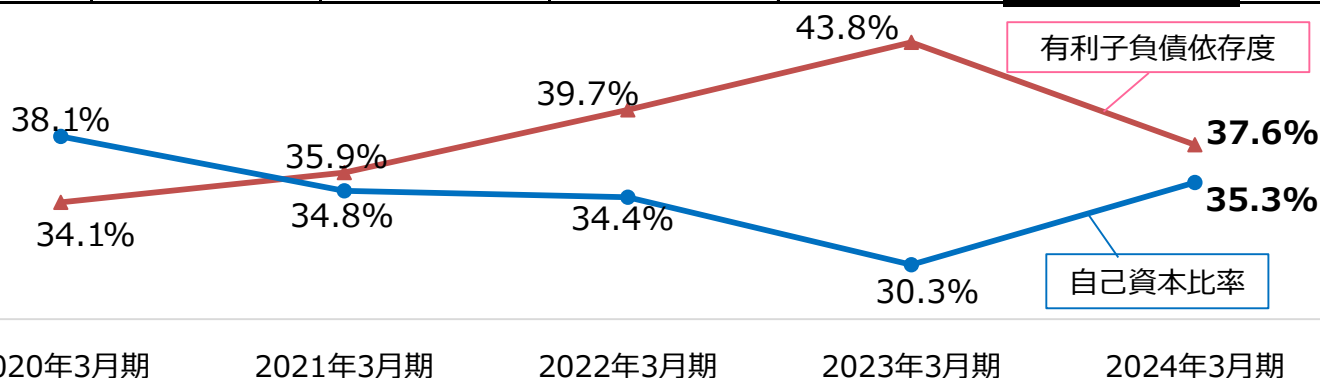
■ 棚卸資産の適正化と好調な業績により有利子負債を圧縮

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	前期比増減
資産合計	17,025	17,885	20,894	23,879	23,340	△ 539
流動資産	11,777	11,094	13,715	15,950	15,050	△ 899
棚卸資産	1,896	2,411	4,415	4,634	4,108	△ 525
固定資産	5,247	6,790	7,178	7,929	8,290	+ 360
負債合計	10,409	11,451	13,499	16,432	14,879	△ 1,553
流動負債	6,287	7,536	9,675	10,884	9,491	△ 1,392
固定負債	4,121	3,915	3,824	5,548	5,388	△ 160
有利子負債(長短)	5,798	6,428	8,294	10,456	8,780	△ 1,676
純資産	6,616	6,433	7,395	7,446	8,461	+ 1,014

為替レート

インドネシア：US\$	108.83	110.71	122.39	133.53	151.41	+17.88
ベトナム：US\$	109.56	103.50	115.02	132.70	141.83	+9.13
中国・香港：HK\$	14.07	13.35	14.75	17.02	18.15	+1.13

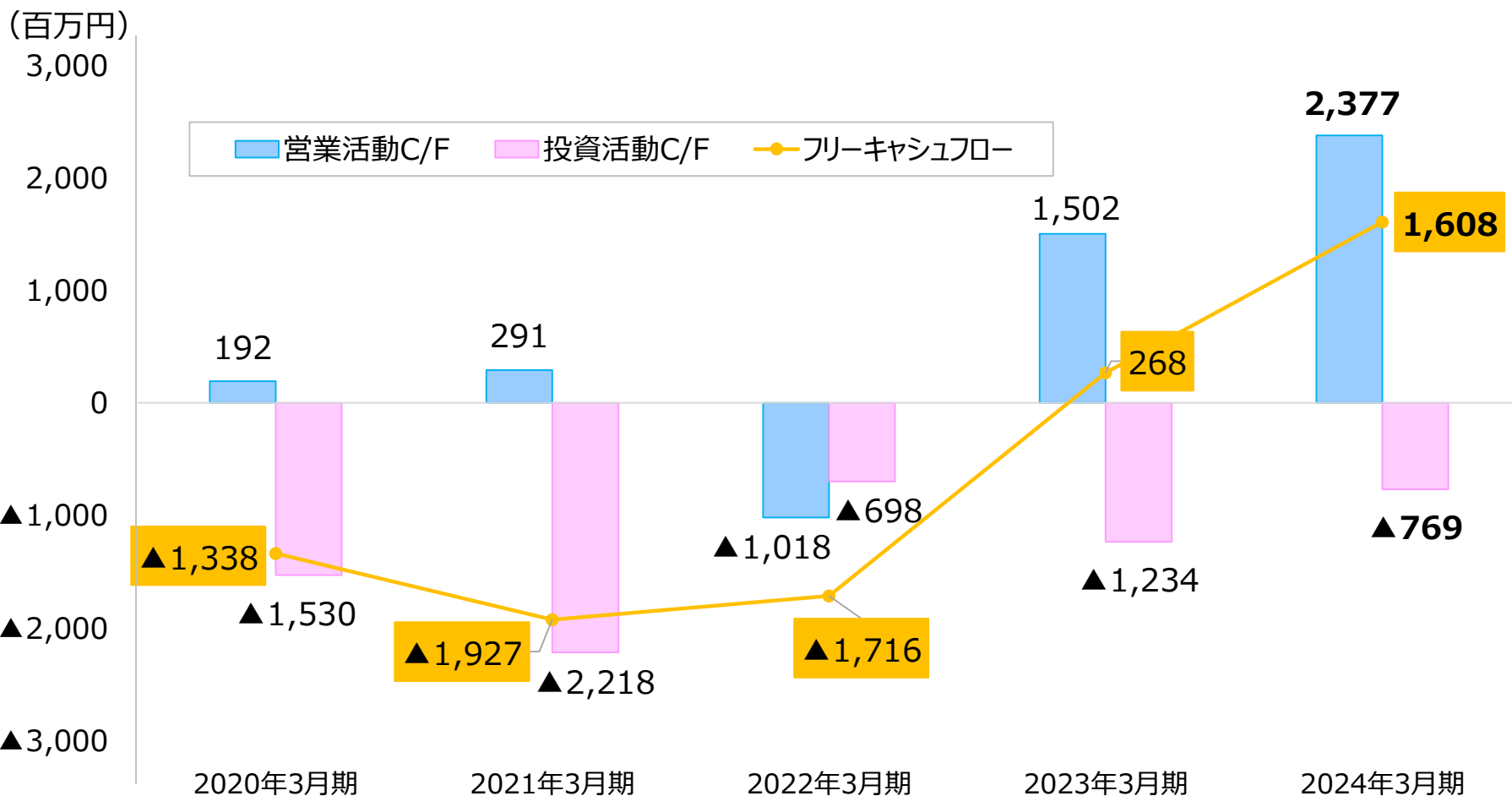
■ 経営指標

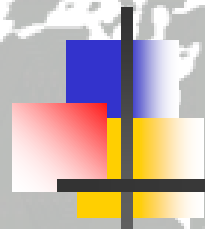


キャッシュ・フロー計算書



- 好調な業績と棚卸資産の適正化、運転資金改善により過去最高の営業C/F
成長拠点ベトナムへの設備投資完了





Ⅱ. 2025年3月期 業績予想

2025年3月期 連結業績予想

(単位:百万円)

連結	業績予想 (2025年3月期)		
	通期	前期比	(参考) 前期実績
売上高	25,000	101.7%	24,580
営業利益	1,300	120.3%	1,080
経常利益	970	106.4%	911
親会社株主に帰属する 当期純利益	640	105.8%	604
営業利益率	5.2%		4.4%
配当予想(円)	11.00	1.00	10.00
US\$為替レート	145.00	インドネシア ベトナム	144.62 140.56
HK\$為替レート	18.52	中国・香港	17.96

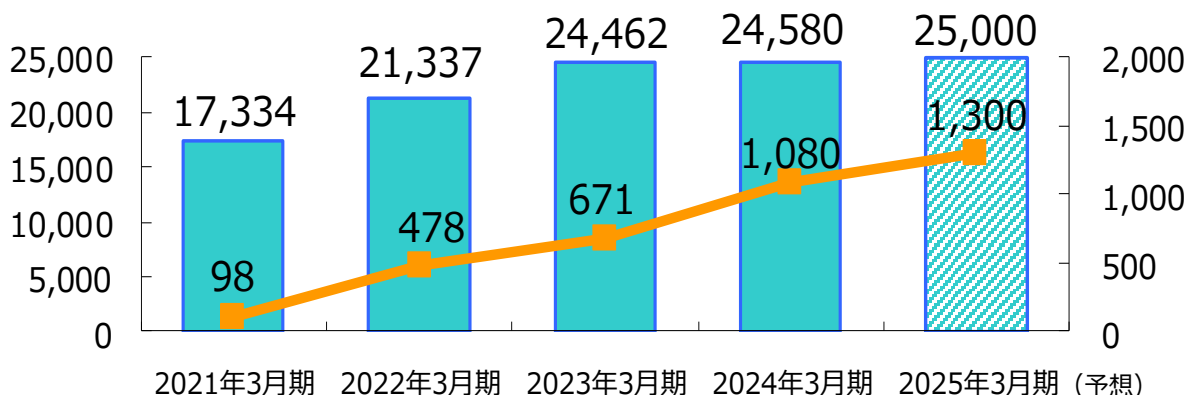
■ 今後の見通し

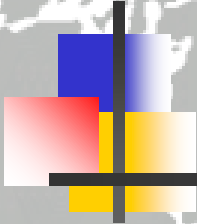
- ・ 前期に生産ラインを増設したベトナム工場は、引き続き旺盛な自動車需要が期待され、中国では、付加価値の高い金属基板増加や、国内では実装事業が堅調に推移する見込み
- ・ 新規顧客獲得やDX・自動化を加速させ、業務効率化に取り組み、全社一丸となって収益力の強化、企業価値の向上に努めます

売上高 (百万円)

■ 売上高 ■ 営業利益

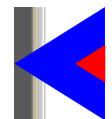
営業利益 (百万円)





Ⅲ. 中期経営計画について

2022年3月期～2026年3月期（5年計画）

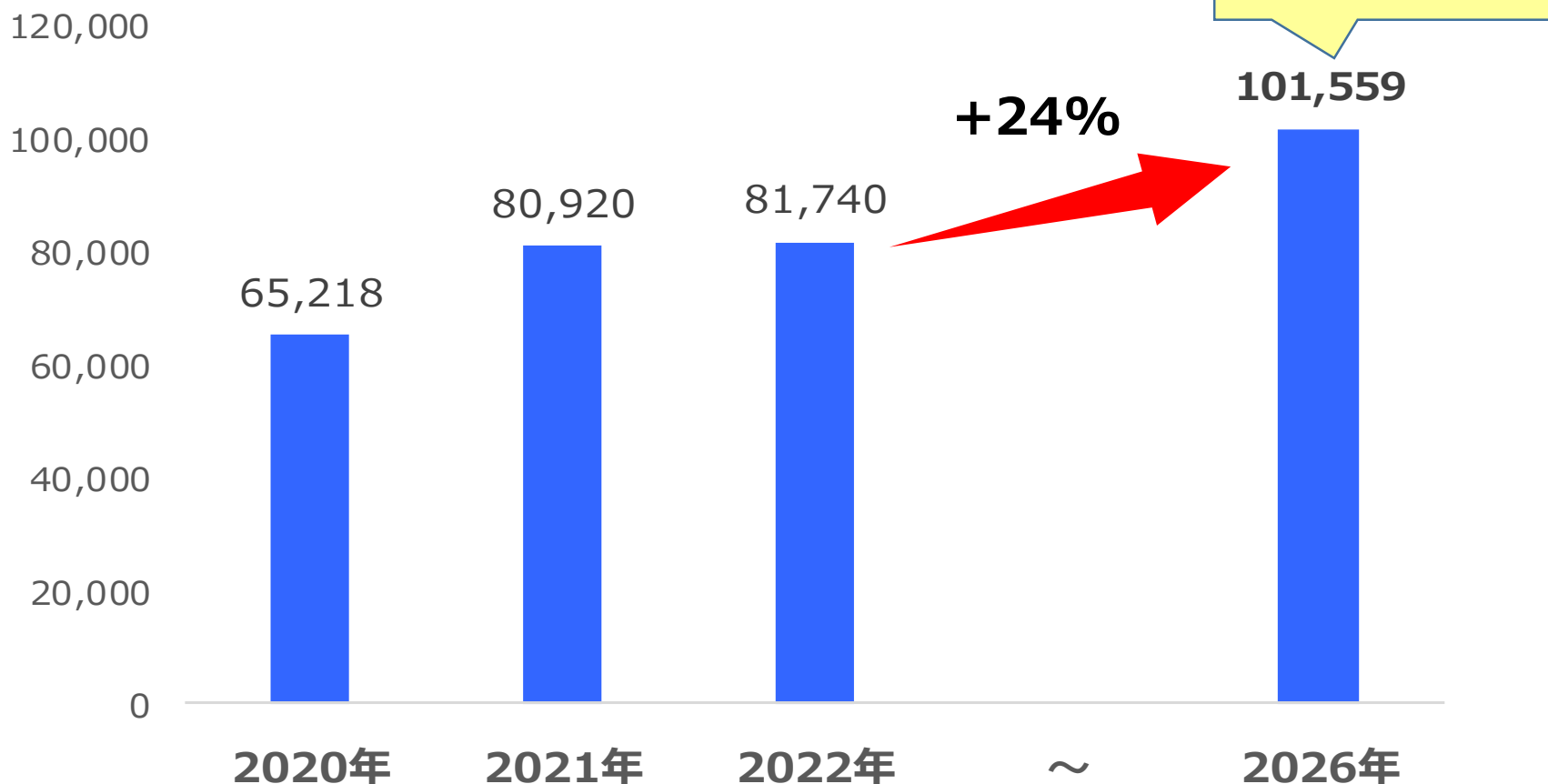


プリント配線板の市場動向（世界市場）

■ 今後も世界のプリント配線板需要は拡大の見込み

世界プリント配線板市場規模

（単位：US\$百万）



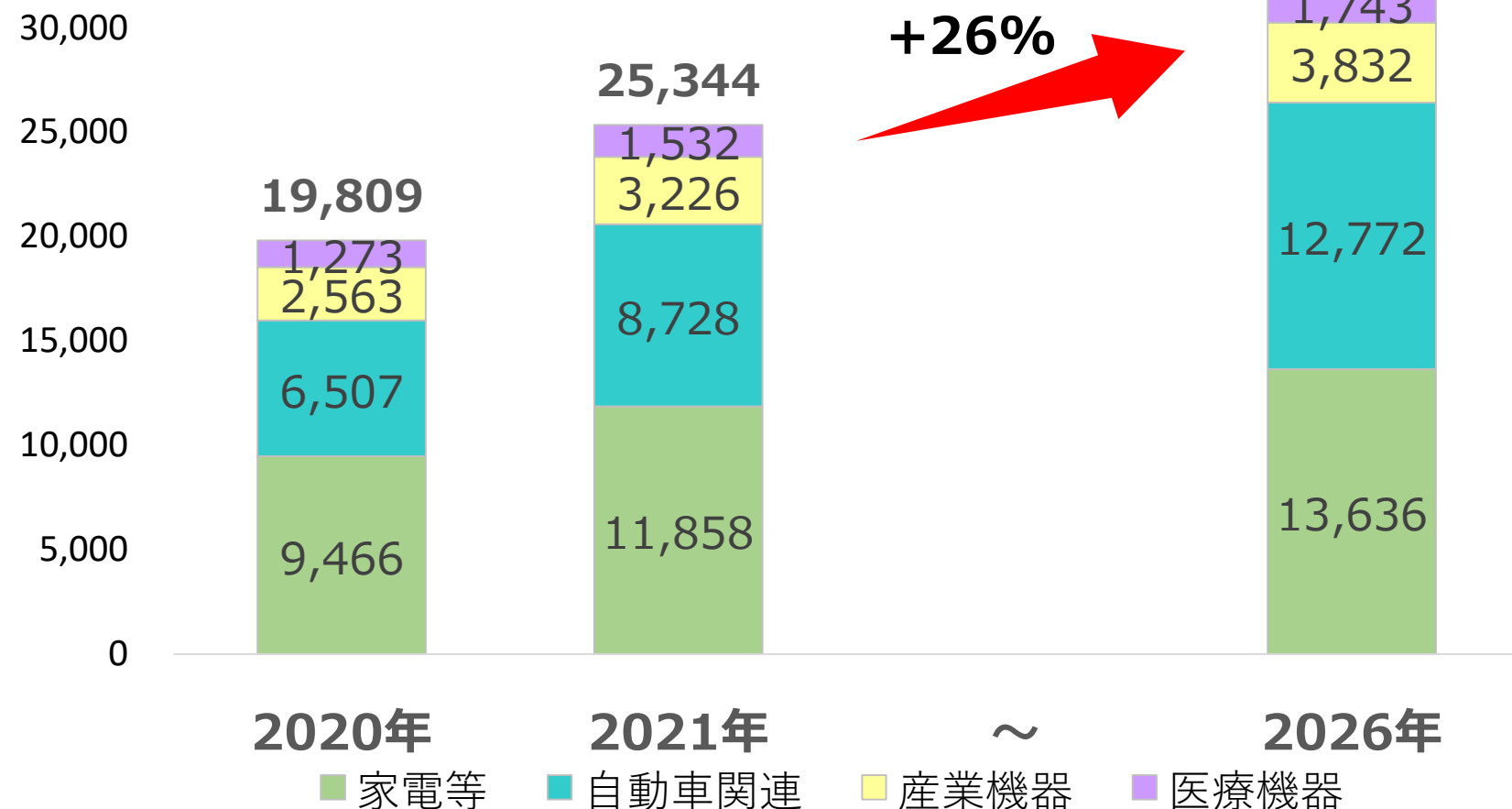
用途別のプリント配線板市場動向（世界市場）

■ 京写がターゲットとする車載、家電、産業機器などで需要拡大

約4.6兆円

(単位：US\$百万)

用途別需要予測



プリント配線板業界での京写のポジション

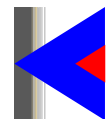
■ 京写は強みを活かせる事業領域に特化し、競争優位を発揮

同業他社は撤退や多層板以上にシフトし、競合は減少

(片面板は家電等の底堅い需要があり、両面板は自動車、産機向けで需要増)

プリント配線板の種類	京写 生産拠点	用 途	参入企業
パッケージ ビルドアップ	—	・半導体(パッケージ基板) ・通信機器(スマートフォン) ・精密機器(デジタルカメラ)	イビデン、新光電気工業 メイコー、CMK、京セラ 台湾系、韓国系、中華系多数
多層板	—	・パソコン(HDD、ネットワーク機器等) ・自動車(エンジンコントローラ等)	メイコー、CMK、キョウデン シライ電子、台湾系、韓国系、 中華系多数
両面板	日本 中国 ベトナム	・自動車(ライト、インパネ等) ・アミューズメント機器(ゲーム機等) ・電子部品(センサー、医療機器等) ・産業機器 (FA機器、ロボット等)	京写、シライ電子(日本、中国) キョウデン (日本、タイ) 台湾系、中華系
銀ペースト 両面板	中国	・カーオーディオ ・事務機(OA端末)	京写、北陸電工
金属ベース	日本、中国 インドネシア	・電子部品(モーター、電源部品等)	京写、日本発条、中華系
片面板	日本 中国 インドネシア	・家電製品 (LED照明、エアコン、炊飯器等) ・事務機(複写機、プリンター)	京写、日系未上場企業 中華系

京写グループの事業領域



経営ビジョン

一流になる

スローガン

Build Trust

基本戦略

企業間連携を最大活用し、独自技術に磨きをかけ
グローバルニッチトップメーカーになる

①グローバル生産・販売戦略

主旨

グローバル供給体制によるソリューションの提供

市場動向

・サプライチェーン分散化の加速 ・ASEAN(ベトナム)の成長 ・自動車電装化、EV化の進展 ・再生可能エネルギー、インフラ市場拡大、5Gの普及

重点施策

①最適な供給網の再構築

- ・ベトナム工場第1期フル稼働
- ・両面事業・営業拠点の再編

②車載・再生可能エネルギー分野向け

両面・金属基板事業の拡大

- ・技術提案型営業の推進

③片面シェア拡大による業界最大の利益確保

- ・圧倒的低コストでのものづくり

④基板・実装・治具の販売シナジー最大化

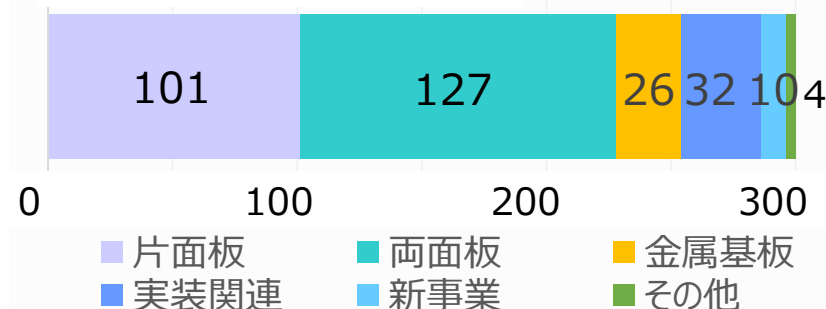
- ・グループ内連携による拡販
- ・外資系メーカーへの拡販

2026年3月期目標

製品別売上(300億円)

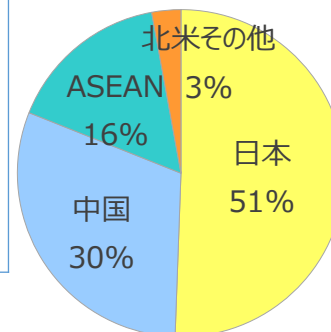
両面板・金属基板の拡大

単位：億円

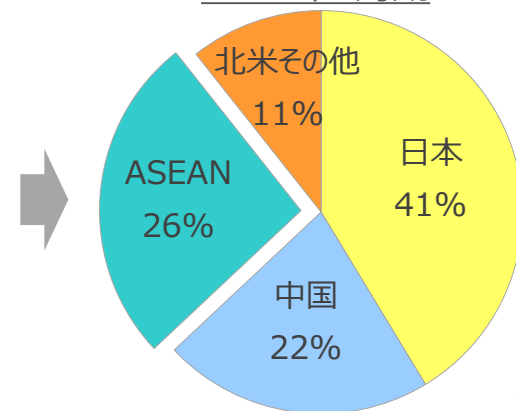


地域別売上割合 ASEAN(ベトナム)地域拡大

2021年3月期



2026年3月期



■京写ベトナム 稼働進捗状況

- ・2021年1月 販売開始
生産能力：20,000m²/月（1ライン生産体制）

・第2生産ライン導入(2023年8月稼働開始)

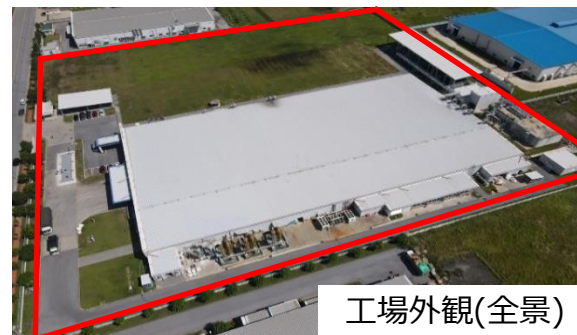
生産能力：40,000m²/月に拡大
顧客の旺盛な需要と内製化加速による受注増加へ対応
自動車向け製品を中心に北米、ASEAN地域へ供給

・2024年3月29日 USD2,000,000増資

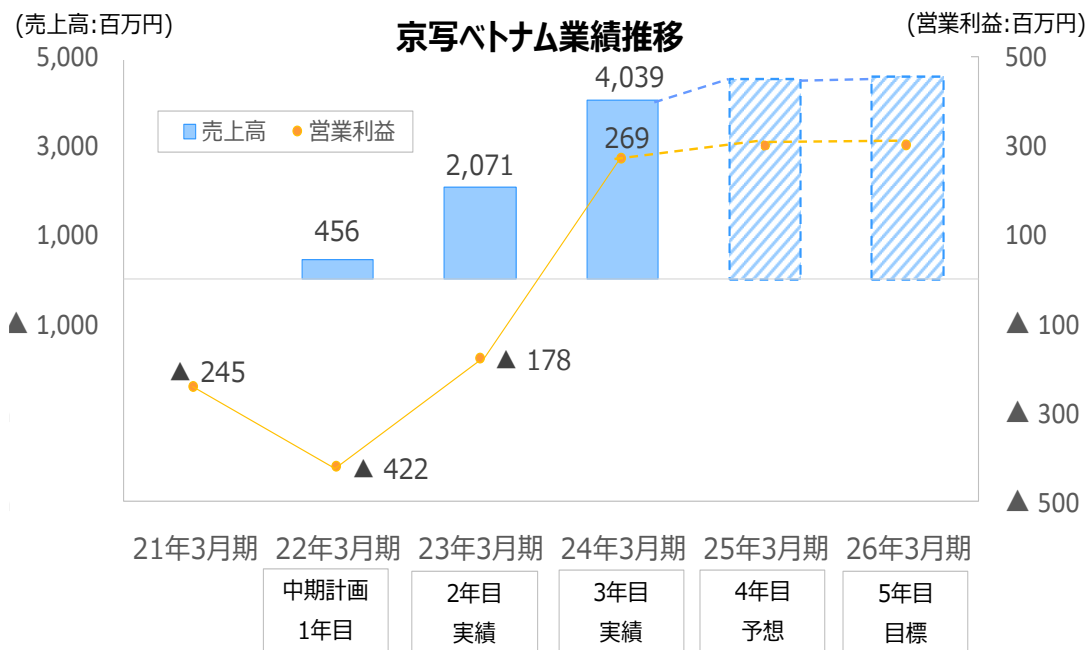
新用途・新規顧客受注増で生産能力増強、太陽光発電導入



メッキ 2ライン



工場外観(全景)



■京写ベトナム概要

- ・所在地：ハノイ市ドンバソン3工業団地
- ・設立年月：2019年1月25日
- ・資本金：USD17,000,000
- ・敷地面積：35,044m²
- ・工場面積：12,934m²(第1期)
- ・生産能力：両面板40,000m²/月(第1期)
- ・総投資額：約USD36百万(第1期2ライン体制)

②企業間連携戦略

主旨

戦略的ネットワークによる競争優位の獲得

市場動向

- ・自動車電装化・EV化の進展、再生可能エネルギーのイノベーション等、技術高度化・ニーズ多様化の加速

重点施策

①顧客・仕入先との連携

- ・EMSメーカー・商社との連携マーケティングによる製品開発、販路拡大
- ・材料メーカーとのタイアップによる新商品開発

②同業他社との相互補完関係の構築

- ・同業他社との連携によるベトナム両面板増産
- ・設計・試作会社との連携による受注拡大

③技術の共同開発

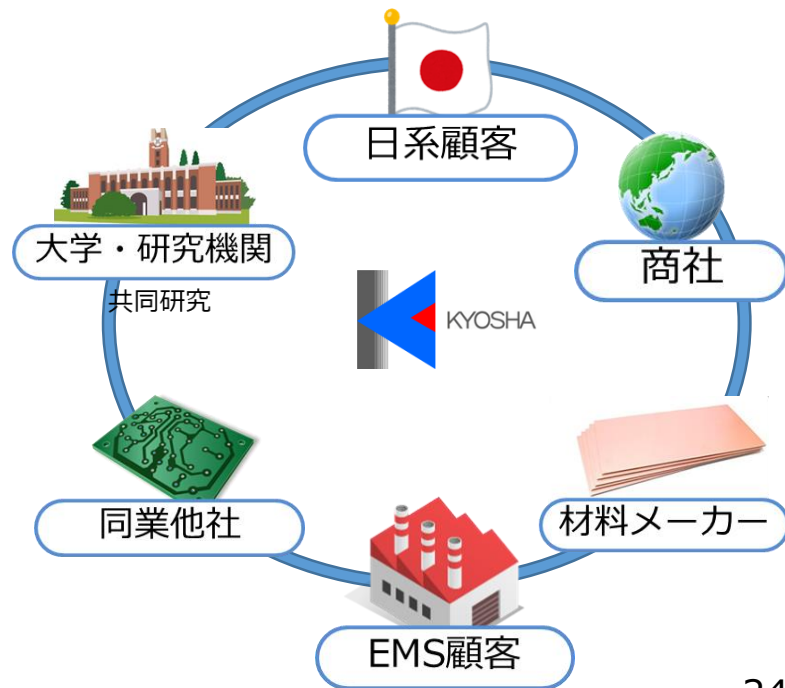
- ・産学連携による技術・ビジネス開発

目標

①販路拡大・新市場開拓

②提携シナジーによる事業拡大

③新製品開発（コア技術確立）



③効率化戦略

主旨

自動化、IT化及びDX推進による生産性向上

市場動向

- ・人材不足、人件費高騰によるデジタル技術の進展
- ・コロナ禍によるビジネスモデルの抜本的変革
- ・コスト対応力の要求

重点施策

①自動化、IT化による生産効率向上

- ・自動化による工数・ロスタイムの削減
- ・新工法活用による生産量拡大

②DX活用による業務効率化推進

- ・基幹システムによる見える化・効率化
- ・DX推進による業務の見直し

③トヨタ生産方式の水平展開

- ・ムダの排除による小ロット対応の最適化
- ・設計強化による付加価値提案(VE)

2026年3月期目標

営業利益

16億円

利益率

5.3%



京写ベトナムIT化



自動化(ロボット化)推進

④技術戦略

主旨

コア技術の深化によるニッチ・成長市場の開拓

市場動向

環境負荷低減、省エネルギーや小型化・高密度化ニーズの高まり

重点施策

①市場ニーズに基づく開発資源の集中

- ・プリントブル関連基板の事業化
- ・0603対応微細基板の技術提案

②超厚銅基板の技術確立

- ・厚銅エッチング技術確立、量産化

③付加価値のある印刷技術の追求

- ・大板印刷・Cuペースト印刷の技術確立

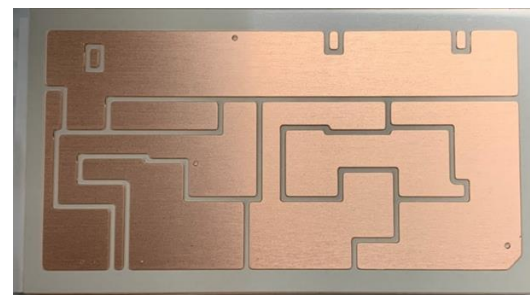
④生産技術を活用した新用途・新工法の開発

- ・自動機(ロボット)や工程革新のための研究開発
- ・治具の新用途開発

2026年3月期売上目標

環境対応商品

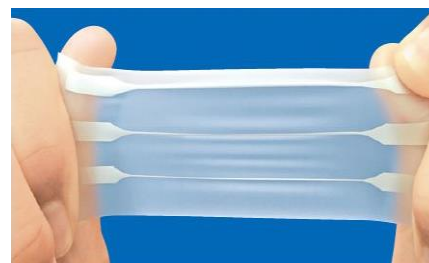
10億円



超厚銅基板(外觀)



(断面)

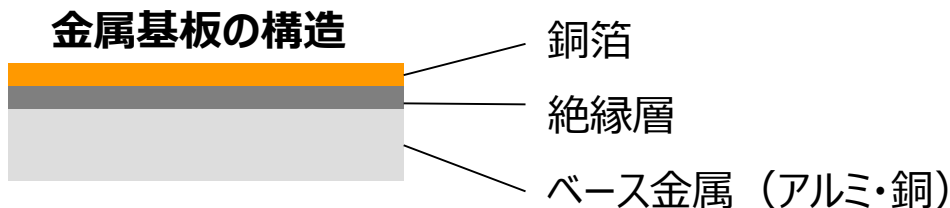


プリントブル基板
(ストレッチャブル基板)

【TOPIC】新商品“金属基板”－省エネルギー製品の需要拡大

新商品の「**金属基板**」は素材がアルミ等の金属、放熱性が高く**自動車向けLEDヘッドライト**などの高い熱を発する製品で需要が拡大

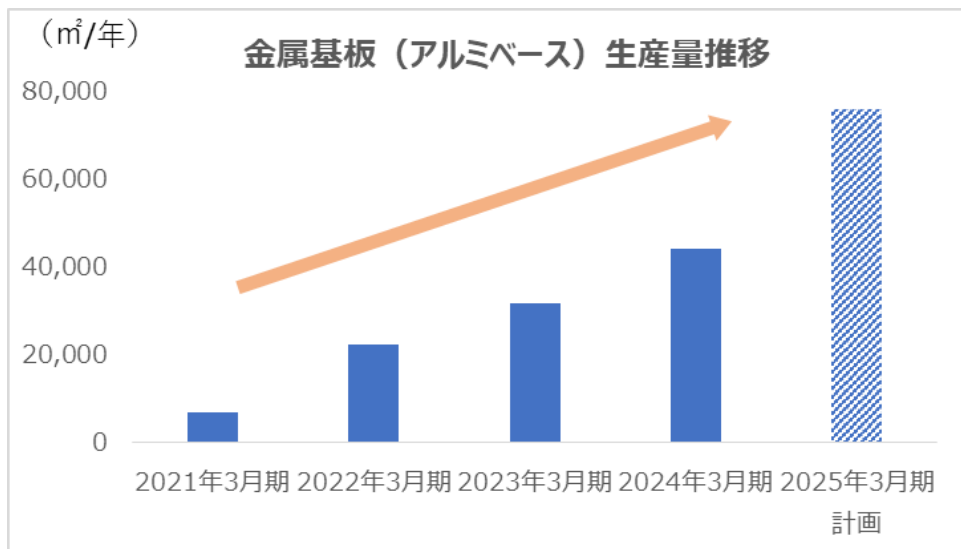
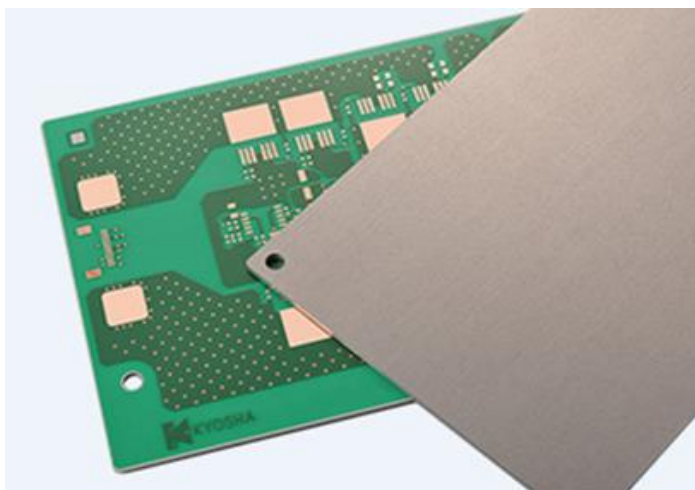
金属基板は片側のみに配線があり、当社の主力製品の片面プリント配線板と同じ構造です



■当社金属基板の特徴

- ①「**スクリーン印刷**」で製造、他社製法の「写真法」と比べ約 2 倍の生産性
- ②印刷精度が写真法と同等の品質
- ③上記による高い価格競争力

これらの特徴から現在は中国工場で順調に生産量を拡大、2024年6月から九州工場で量産開始予定



⑤財務戦略

主旨

将来の成長実現に向けたキャッシュ・フロー経営

市場動向

米中貿易摩擦長期化、サプライチェーン分散化の加速によるASEAN(ベトナム)の成長、世界経済の回復見通し

重点施策

①持続的成長に向けた集中と選択による投資

- ・将来の成長事業への優先投資と早期収益化による投資回収

②自己資本の強化

- ・収益力強化による自己資本の充実
- ・有利子負債の適正化
- ・生産リードタイム短縮、棚卸資産・売上債権の圧縮による資本効率化

③持続的・積極的な株主還元

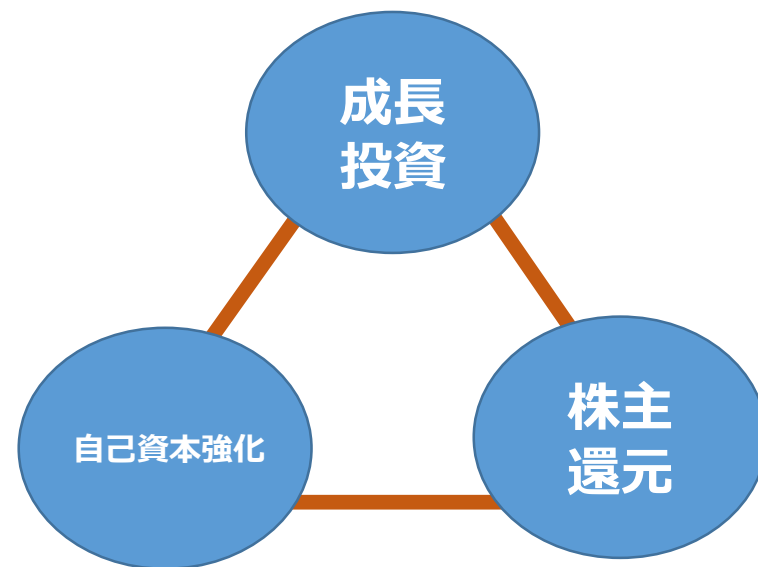
2026年3月期目標

ROE

10%

配当性向

25%



⑥人財戦略

主旨

社員一人ひとりの能力開発と活躍による企業価値向上

市場動向

デジタル技術(DX)の進展加速、働き方の多様化、生活・仕事への価値観の変化、キャリア形成意識の向上、CSRに対する社会的要求の高まり

重点施策

①社員満足度の向上

- ・働きやすい職場環境づくり
 - DX活用による働き方改革
- ・人事制度の見直し
 - 評価制度・業績連動型報酬

②多様な人材能力の発揮

- ・グローバル人材、グローバル人材

③マネジメント人材の育成

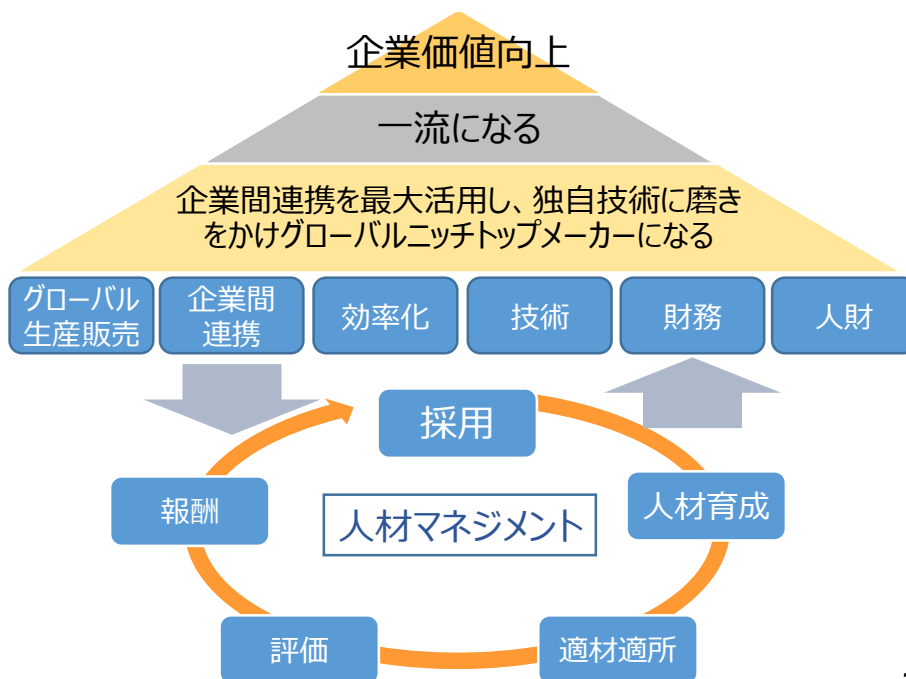
- ・後継者育成、マネジメント育成

④信頼と安全の体制づくり

- ・グループCSR体制の推進
 - ESG・SDGsの取組み
 - コーポレートガバナンス対応

目標

- ①従業員が誇りに思える会社づくり
- ②スキルのレベルアップ
- ③高度な業務知識の向上
- ④ESG課題の解決とコンプライアンスの徹底



中期経営目標

経営目標

2026年3月期

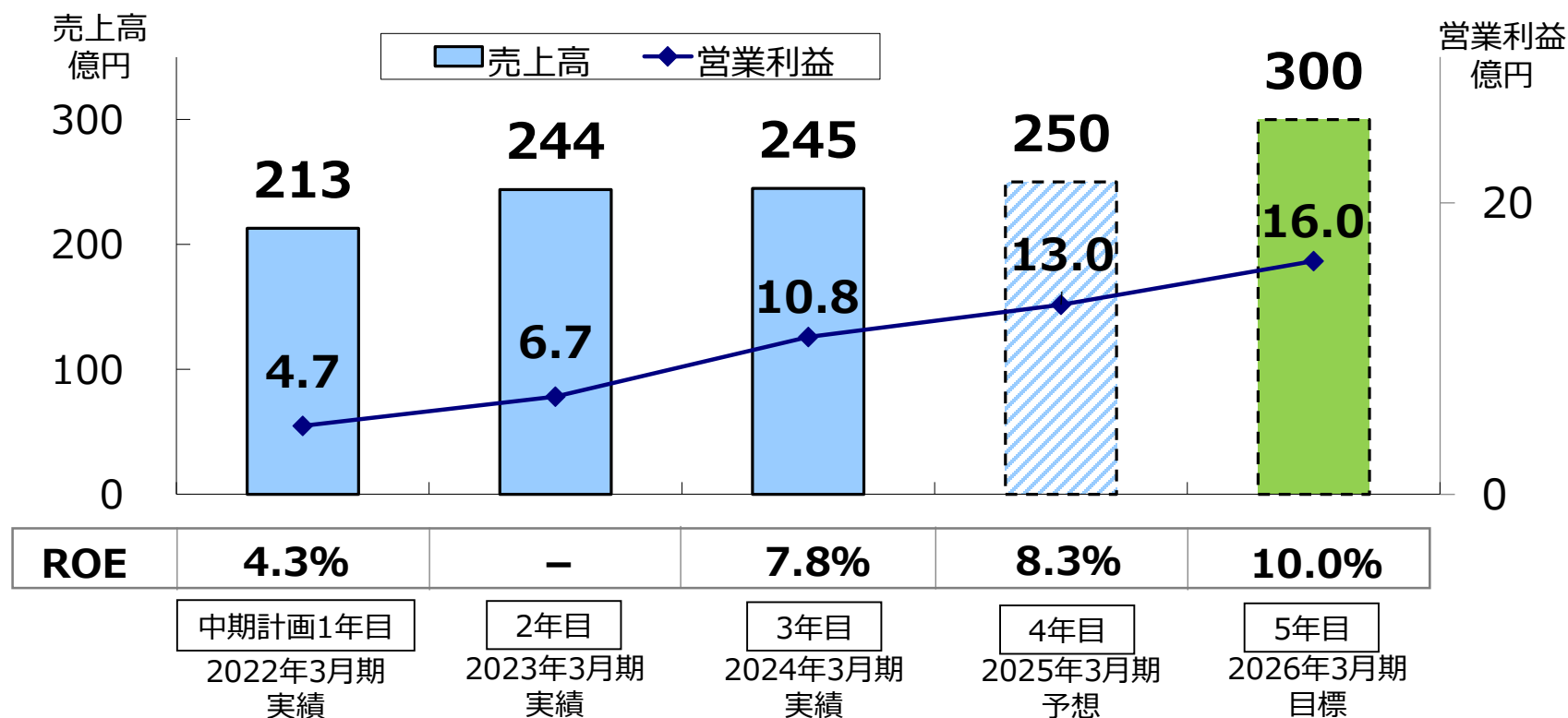
売上高 300億円

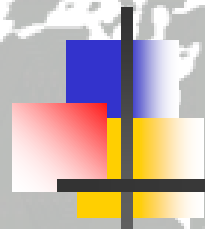
営業利益 16億円

営業利益率 5.3%

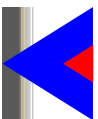
ROE（自己資本利益率）10%

中期経営目標





IV. サステナビリティへの取組み



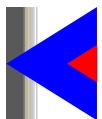
サステナビリティ方針とESGに配慮した事業活動

■サステナビリティ方針

京写グループは、経営理念、経営基本方針、行動規範に基づき事業活動を実践し、お客様、株主、投資家、従業員などすべてのステークホルダーとの信頼関係を構築することで、企業価値の向上と持続可能な社会の実現を目指します。

■事業活動によるESG、SDGsへの取組み

ESG	SDGsの目標		京写の取組み
E 環境	6 安全な水とトイレを世界中に  12 つくる責任 つかう責任 	・水の利用効率の改善 ・地球温暖化防止(CO2削減) ・化学物質の使用量削減 ・廃棄物の削減 ・エネルギー効率の改善	・水,電気,インクの総使用量と原単位使用量削減 ・廃棄量の削減 ・自社開発の環境配慮型製品(ECOMAP)の市場浸透 ・環境対応、省エネ向け製品 シェアの拡大
	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 		
S 社会	8 働きがいも経済成長も  9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	・適切な雇用創出 ・強靱なインフラの開発 ・製造業のサプライチェーンの強化とバリューチェーン拡大	・京写ベトナムによる両面板サプライチェーン体制の強化 ・多様な人材の育成と能力の発揮
	4 質の高い教育をみんなに  5 ジェンダー平等を實現しよう 	・質の高い教育の推進 ・ジェンダー平等、女性活躍推進 ・社会貢献活動	
G ガバナンス	16 平和と公正をすべての人に 	・企業倫理の徹底と法令順守	・サステナブル体制の推進



【TOPIC】三和電子・ベトナムで太陽光発電導入ー持続可能な社会の実現へ

■サステナビリティ方針に基づき、環境に配慮した事業活動を行い、SDG s の「地球温暖化防止」の目標達成を目指す一環として、子会社で太陽光発電設備導入

■**三和電子** 使用する**電力使用量の約14%**を太陽光発電で賄い、**年間約161tのCO2排出量の削減**を見込む
併せて、太陽光パネルの遮熱効果により電力削減を図る

■太陽光発電設備の概要

- ・発電開始：2023年8月 ・設置場所：三和電子(株)工場屋根
- ・太陽光パネル：845枚 ・年間発電量：200,000kwh(見込)
- ・CO2削減量：161t/年(見込)

三和電子の概要

会 社 名：三和電子株式会社（岡山県 津山市）
設立年月：1980年10月
資 本 金：1,500万円
事業内容：基板実装・組立、実装搬送治具の製造及び完成品の組み立て



三和電子の工場屋根に設置した太陽光パネル



三和電子の工場全景

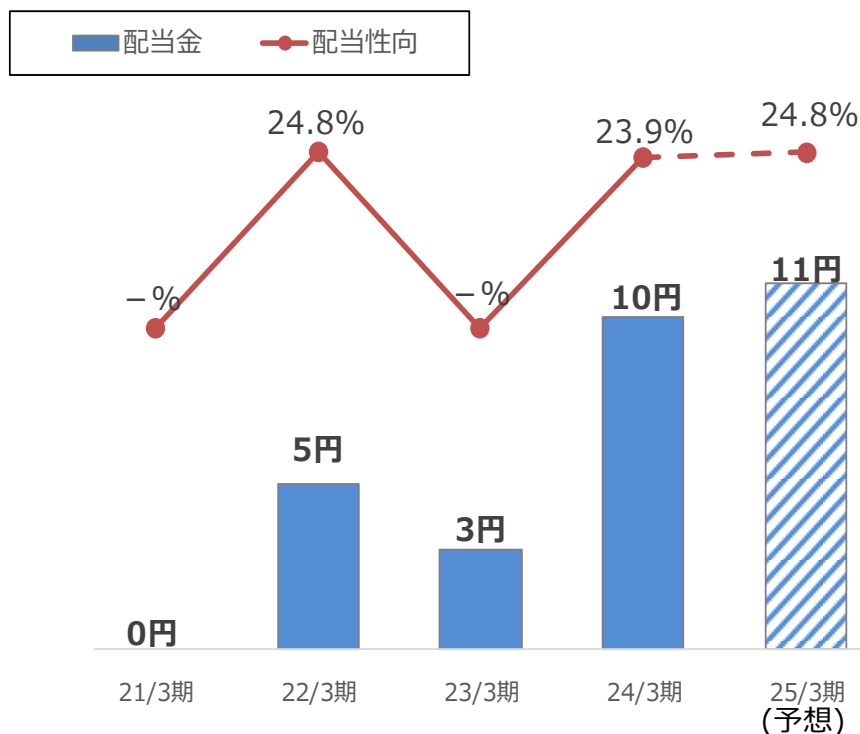
■京写ベトナム

・2024年8月稼働予定

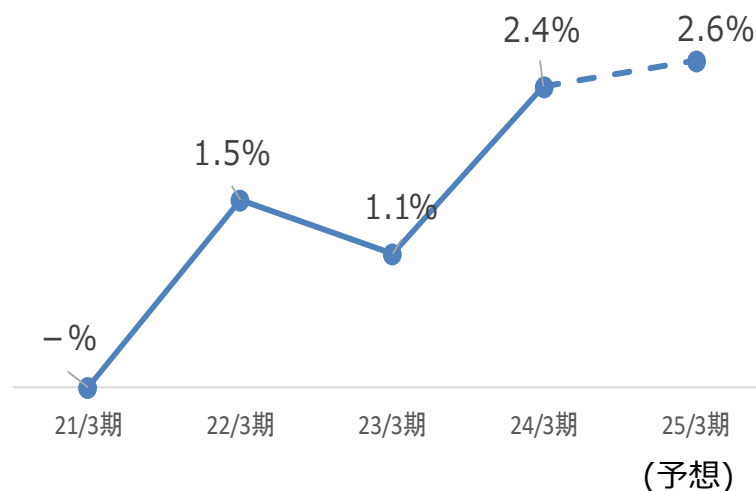
・電力使用量の約7%を太陽光発電で賄い、**年間約768tのCO2排出量の削減**を見込む

- 25/3期 1株当たり配当金は**11円**を計画
- 中期経営計画として**配当性向 25%**を目指す

1株当たり配当金、配当性向推移



配当利回り



期末株価	313円	336円	284円	420円	420円
------	------	------	------	------	------

(※)

※25/3期予想「配当利回り」は2024/3/29終値をもとに算定

本資料には、当社グループの将来の計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信にもとづく見込みです。

また経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実性も多分に含んでいます。それゆえ実際の業績は当社の見込とは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

<お問い合わせ先>

株式会社京写

経営管理本部 経営企画部

HP: <https://www.kyosha.co.jp>

TEL:075-631-3193

FAX:075-631-8370

E-MAIL: ir@kyosha.co.jp